

## 東京電力／福島第一原子力発電所の緊急事態に伴う 静岡県内の環境放射線等測定結果(第253報) (平成23年7月19日17時現在)

文部科学省からの要請に基づき、静岡県の環境放射線の測定を実施しております。

また、3月18日からは水道水及び降水物の放射能測定も開始しました。さらに、3月23日から下田市、沼津市及び磐田市に可搬型モニタリングポストを設置し、環境放射線の測定を開始しました。

測定結果は次のとおりです。健康への影響を心配する必要がないレベルです。

### 1. 7月19日9時から7月19日17時までの環境放射線の測定結果

この時間帯、静岡市の測定結果は過去の変動幅を28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時) を超過した値は観測されませんでした。

また、下田市、沼津市及び磐田市に設置したモニタリングポストの測定結果については、平成19年度から平成21年度までの文部科学省による全国の環境放射能水準調査の結果の範囲内の値であり、健康への影響を心配する必要がないレベルです。

時間	測定値(nGy/h)				備考
	静岡市	下田市	沼津市	磐田市	
9:00～10:00	39.9	47.0	41.8	42.7	
10:00～11:00	39.6	47.7	41.8	43.2	
11:00～12:00	40.0	47.8	42.0	42.5	
12:00～13:00	39.5	47.8	41.8	42.0	
13:00～14:00	39.0	48.0	42.5	42.2	
14:00～15:00	38.8	47.8	42.3	42.0	
15:00～16:00	39.7	48.3	42.7	41.8	
16:00～17:00	38.7	47.3	42.3	42.0	

- ・ 静岡市の過去の変動幅：**28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時)**
- ・ 平成19年度～平成21年度の文部科学省による全国の環境放射能水準調査の測定結果の最小値：13.3 nGy/h (沖縄県)、最大値：153 nGy/h(新潟県)
- ・ 宇宙線(宇宙からの放射線)の影響を除いた値です。
- ・ 1 nGy/h (ナノグレイ毎時) ≒ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時)
- ・ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時) = 0.001 μSv/h (マイクロシーベルト毎時)  
= 0.000001 mSv/h (ミリシーベルト毎時)

### <地上から1mの高さでの環境放射線の測定結果>

文部科学省からの要請により、6月13日から、静岡市のモニタリングポスト(測定部が地上から約3m)の近傍で、可搬式のサーベイメータを使用して、地上から1mの高さでの環境放射線の測定(毎日10時時点)を実施しています。

【測定場所：静岡市葵区北安東】

7月19日10時            56 nGy/h (ナノグレイ毎時)  
(= 0.056 μSv/h (マイクロシーベルト毎時))

※地質や周囲の建物などの周辺環境、測定器の性能の違いなどにより測定値が異なる場合があります。

(次ページに続く)

## ＜県内12箇所の地上から1mの高さでの環境放射線の測定結果＞(平成23年7月6日17時現在)

文部科学省からの要請を受け、7月4日～7月6日の3日間に、県内12か所の県有施設において、可搬式のサーベイメータを使用して、地上から1mの高さでの環境放射線を測定しました。

測定結果は表のとおりです。

平成19年度から平成21年度までの文部科学省による全国の環境放射能水準調査の結果及び静岡市の過去の変動幅の範囲内の値であり、健康への影響を心配する必要がないレベルです。

【測定場所：県内12か所】（単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$ （マイクロシーベルト毎時））

No	所在地	測定値	測定日時
1	熱海市水口町	0.074	平成23年7月4日13:00
2	伊東市湯川	0.065	平成23年7月4日14:00
3	沼津市高島本町▲	0.060	平成23年7月5日11:30
4	御殿場市竈	0.040	平成23年7月4日10:50
5	富士市本市場	0.058	平成23年7月5日12:50
6	伊豆市湯ヶ島	0.057	平成23年7月5日12:50
7	下田市中▲	0.071	平成23年7月5日9:00
8	松崎町江奈	0.055	平成23年7月5日10:00
9	静岡市清水区谷津町1丁目	0.046	平成23年7月5日13:40
10	藤枝市瀬戸新屋	0.074	平成23年7月6日13:10
11	磐田市見付▲	0.039	平成23年7月6日11:20
12	浜松市中区中央1丁目	0.039	平成23年7月6日10:40

※ 平成19年度～平成21年度の文部科学省による全国の環境放射能水準調査の測定結果

最小値： $0.013 \mu\text{Sv}/\text{h}$ （沖縄県）、最大値： $0.153 \mu\text{Sv}/\text{h}$ （新潟県）

静岡市の過去の変動幅： $0.0281 \sim 0.0765 \mu\text{Sv}/\text{h}$

※ 静岡市の過去の変動幅及び表中の測定値は宇宙線（宇宙からの放射線）の影響を除いた値です。

※ ▲：可搬型モニタリングポストを設置している場所です。

※ 地質や周囲の建物などの周辺環境、測定器の性能の違いなどにより測定値が異なる場合があります。

(次ページに続く)

## 2. 7月19日採取の水道水の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：静岡市葵区北安東】

ヨウ素131：検出されず

セシウム137：検出されず

これまでのところ、3月22日の測定でのみ、福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性のヨウ素131が極微量（0.14Bq/kg）検出されましたが、この影響による被ばく線量は約0.0000055mSv（ミリシーベルト）（約0.0055μSv（マイクロシーベルト））であり、1年間の被ばく線量限度1mSvと比較しても約18万分の1以下の値です。乳幼児も含め、健康には全く影響がない値です。

### （参考）3月22日の採取の測定結果

3月22日の測定では、福島第一原子力発電所の影響と思われる極微量（0.14Bq/kg）の放射性のヨウ素131が検出されましたが、この値は飲食物摂取制限に関する指標値（300Bq/kg）の約200分の1以下、乳幼児の指標値（100Bq/kg）の約600分の1以下であり、健康には全く影響がない値です。

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131：0.14 Bq/kg（ベクレル毎キログラム）

セシウム137：検出されず

## 3. 7月19日の降下物の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：御前崎市池新田】

採取期間：7月18日9時～7月19日9時

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131：検出されず

セシウム134：検出されず

セシウム137：検出されず

3月22日の測定から福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性物質が極微量検出されましたが、これらの放射性物質による線量率の増加は、解析の結果、これまでに降下したものを含め、約0.000002mSv/h（ミリシーベルト毎時）（約0.002μSv/h（マイクロシーベルト毎時））でした。この状況が1年間続くと仮定した場合、降下物の影響による1年間の被ばく線量は約0.018 mSv（ミリシーベルト）（約18μSv（マイクロシーベルト））であり、1年間の被ばく線量限度1mSv（ミリシーベルト）と比較しても約55分の1以下の値で、健康には全く影響がない値です。

### （参考）平成23年3月22日から7月18日までの測定結果

【検出された放射能濃度】（単位：Bq/m<sup>2</sup>（ベクレル毎平方メートル））

放射性核種	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2
ヨウ素131	200	150	5.8	4.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
セシウム134	72	23	5.7	7.6	9.6	ND	8.3	ND	3.1	2.8	ND	ND
セシウム137	72	25	5.9	8.0	ND	ND	ND	ND	3.1	4.6	3.4	ND
放射性核種	4/3	4/4	4/5	4/6～4/16（11日間）		4/17	4/18～7/17（91日間）				7/18	
ヨウ素131	ND	ND	ND	ND		ND	ND				ND	
セシウム134	ND	ND	ND	ND		2.1	ND				ND	
セシウム137	ND	ND	5.5	ND		ND	ND				ND	

・Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位 ・ND：検出されず

（次ページに続く）

4. 平成23年3月からの降下物の放射能測定（核種分析）結果(平成23年6月17日17時現在)  
【試料採取場所：静岡市葵区北安東】

検出された放射能濃度

(単位：Bq/m<sup>2</sup> (ベクレル毎平方メートル))

採取年月	放射性核種			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム136	セシウム137
平成23年3月	1,100	550	36	540
平成23年4月	17	87	1.1	86
平成23年5月	0.47	11	検出されず	12

- ・ 平成23年3月の採取期間：3月1日10時～4月1日10時
- ・ 平成23年4月の採取期間：4月1日10時～5月2日10時
- ・ 平成23年5月の採取期間：5月2日10時～6月1日10時

福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性物質が微量検出されましたが、これらの放射性物質による採取期間中の線量率の増加分は、解析の結果、約0.0000075mSv/h（ミリシーベルト毎時）（約0.0075μSv/h（マイクロシーベルト毎時））でした。この状況が1年間続くと仮定した場合、降下物の影響による1年間の被ばく線量は約0.067mSv（ミリシーベルト）（約67μSv（マイクロシーベルト））であり、1年間の被ばく線量限度1mSv（ミリシーベルト）と比較しても約15分の1の値で、乳幼児も含め、健康には全く影響がない値です。

<参考>浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査(速報)(平成23年6月28日現在)

【試料採取場所：御前崎市池新田】

降下物の放射能測定(核種分析)結果

【検出された放射能濃度】(単位：Bq/m<sup>2</sup> (ベクレル毎平方メートル))

採取年月	測定機関	放射性核種		
		ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
平成23年3月	県環境放射線監視センター	613	617	596
	中部電力(株)	845	499	611
平成23年4月	県環境放射線監視センター	18.5	57.4	58.9
	中部電力(株)	19.0	55.4	65.1
平成23年5月	県環境放射線監視センター	1.4	10.0	10.3
	中部電力(株)	2.4	17.3	18.6
過去の変動幅		検出されず	検出されず	検出されず～0.12

- ・ 平成23年3月の採取期間：3月1日～3月31日
- ・ 平成23年4月の採取期間：4月1日～5月1日
- ・ 平成23年5月の採取期間：5月1日～5月31日

(詳しくは、静岡県ホームページ(<http://www.pref.shizuoka.jp/>)危機管理情報トップページの原子力発電設備情報「浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果(速報)」を参照ください。)

(次ページに続く)

水道水の放射能測定結果について

東京電力福島第一原子力発電所の緊急事態に伴い、3月24日より県東部、県中部及び県西部の水道水の放射能を測定しています。さらに、3月26日より伊東市、東伊豆町及び下田市の水道水についても、放射能を測定しています。

測定結果は次のとおりです。(7月19日採水分まで、検出されていません。)

なお、5月以降は上記6箇所について、毎火曜日の測定としました。

ただし、緊急時には臨時測定を実施します。

測定結果

放射性ヨウ素

単位：Bq/kg

	県企業局 駿豆水道	静岡県大井川広 域水道企業団	県企業局 遠州広域水道	伊東市	東伊豆町	下田市
3月24・25日	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—
3月26日 ～4月30日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
5月3・10・17・24・31日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
6月7・14・21・28日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
7月5・12日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
7月19日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず

放射性セシウム

単位：Bq/kg

	県企業局 駿豆水道	静岡県大井川広 域水道企業団	県企業局 遠州広域水道	伊東市	東伊豆町	下田市
3月24・25日	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—
3月26日 ～4月30日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
5月3・10・17・24・31日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
6月7・14・21・28日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
7月5・12日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
7月19日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず

<参考>

水道名等	水源	採取地点	給水市町
県企業局 駿豆水道	柿田川	三島市中島	熱海市、三島市、函南町
静岡県大井川広域水道企業団	大井川	島田市相賀	島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御前崎市、菊川市、牧之原市
県企業局 遠州広域水道	天竜川	磐田市寺谷	浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、森町
伊東市上水道	伊東大川	伊東市宇佐美	伊東市
東伊豆町上水道	白田川	東伊豆町白田	東伊豆町
下田市上水道	稲生沢川	下田市河内	下田市

以上